

第1学年国語科学習指導案

日 時 9月10日(金) 1校時
児 童 男3名 女6名 計9名
指導者 青笹 範子

- 1 単元名 くらべてよもう
教材名 「じどう車 くらべ」

2 単元について

第1学年の読むこと目標は「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付きながら読むことができるようにするとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。」である。本教材「じどう車くらべ」は、児童が初めて出会った説明的文章「だれだかわかるかな」の学習からつながっているものである。この時期の児童にとって興味、関心がある代表的なものの一つである自動車を取り上げ、児童が主体的に読み、理解し、表現することができるようになっている。「だれだかわかるかな」と違い、問いの部分が冒頭にあり、それを受けて三つの自動車を「仕事」と「つくり」の2つの観点で説明している。したがって、読みのねらいを明確にして読むという学習活動を行うことができる教材である。いずれの説明も3文で構成されていて分かりやすく、自分で自動車について説明の文を書く場合には、この教材で学んだ文章の形式を生かしながら、書き写したり、書き換えたりして自分なりの表現をすることができる。

児童は今までに「だれだかわかるかな」で、写真から情報を得ることや書かれている内容を正確に理解する学習をしたり、説明的文章の基本文型に慣れるために何回も繰り返し声に出して読んだりする学習をしている。また、自分が興味のある生き物の本を読み、2年生に生き物クイズを出題するなど目的をもった学習活動を展開している。入門期は物語中心の読書であったが、「だれだかわかるかな」の学習後、鳥について書かれた本や動物についての図鑑などに興味を持ち、読み始めた児童もいる。日常の活動では児童が本に親しむきっかけになるように読み聞かせを多く取り入れている。個人差はあるものの本を読むことに抵抗感をもっている子は見当たらない。テレビのアニメ番組の影響もあり、1年生ながら文字数の多い「かいけつゾロリ」のシリーズ本を集中して読む姿も見られる。

本時における「豊かに考える」ということを「大事なことを見つける」ととらえ、読書材の中から情報を集める指導を行いたい。そのために、単元の導入段階で自動車について書かれた本の読み聞かせを行い、自動車について知っていることを自由に発表させる。その中で、知らなかったことをもっと知りたい、なぜ?という疑問を解きたいという意欲をもたせたり、図鑑作りへの興味を持たせたりしていきたい。読み深める段階では、教材にある三つの自動車について、基本的な能力が身に付くように詳しく読み取らせていきたい。発展段階では児童それぞれが好きな乗り物について説明を書き、図鑑を作らせていきたい。本時は図鑑を作るために必要な情報を集める練習を行う発展段階である。読書材から情報を集めたり、集めた情報が教材文と同じか違うかを比べたりすることができるようにさせていきたい。交流の場では、分かったことを発表したり聞いたりすることができればよいと考えている。その際、児童の発表(交流)の助けになるようにワークシートを使い、それをもとに図鑑作りを行いたい。

3 単元の目標

- 自動車についての本や資料を見て、図書資料に親しもうとする。(関心・意欲・態度)
- 3種類の自動車について、仕事とつくりの関係などを考えながら内容の大体を読むことができる。(読むことイ)
- 自動車の働きと作りの関係に興味をもって読むことができる。(読むことア)
- 自動車図鑑を作るために、選んだ自動車について説明に必要な情報を集めることができる。(書くことア、イ)
- 語と語や文と文の続き方を考えて、敬体の文章を書くことができる。(書くことエ 言語事項イ、オ)

4 指導計画（9時間扱い）

段階	学習活動		時間	評価規準					
				関心意欲態度	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	
一次	見通しをもつ	導入読書	①②学習の計画を立てる。	1	自動車について知っていることを話そうとする。	自動車について知っていることを発表したり、聞いたりすることができる。			
			1	図鑑作りへの意欲をもち、学習計画を立てようとする。			読みの視点を見つけることができる。	新出漢字「車」「人」を読むことができる。	
二次	読み深める		③バスや乗用車の仕事とつくりについて読み取る。	1	文章の中から仕事とつくりを見つけてようとしている。		視写することができる。	仕事とつくりを「そのために」「～ように」という言葉に着目して読み取ることができる。	「バス」を正しく書くことができる。
			④トラックの仕事とつくりについて読み取る。	1	文章の中から仕事とつくりを見つけてようとしている。		視写することができる。	仕事とつくりを「そのために」「～います」という言葉に着目して読み取ることができる。	「トラック」「タイヤ」を正しく書くことができる。
			⑤クレーン車の仕事とつくりについて読み取る。	1	文章の中から仕事とつくりを見つけてようとしている。		視写することができる。	仕事とつくりを「そのために」「～たり、～たり」という言葉に着目して読み取ることができる。	「クレーン」を正しく書くことができる。
三次	ひろめる	発展読書	⑥読書材を用い、はしご車の仕事とつくりを見つける。	1 本時	本から必要な情報（仕事とつくり）を見つけてようとしている。	読み取ったことを話したり、友だちの発表を聞いたりすることができる。	読み取ったことをワークシートに簡単に書くことができる。	何をやる車なのか、どんなつくりになっているかを文章や写真から読み取ることができる。	
			⑦好きな自動車の図鑑や本を選び、読む。	1	自動車について書かれた本を探し、楽しんで読もうとする。			選んだ本を読むことができる。	
			⑧選んだ自動車の仕事とつくりを読み取る。	1	選んだ自動車について、必要な情報を集めようとしている。		集めた情報をワークシートに簡単に書くことができる。	自動車の仕事とつくりを読み取ることができる。	
			⑨図鑑を作る。	1	楽しんで図鑑作りをしようとしている。		ワークシートをもとに教科書の文型にならって、説明の文を書くことができる。		「～です」「～ます」の表現で書くことができる。

5 本時の指導

(1) ねらい

はしご車について書かれた本を読んで、仕事とつくりを見つけることができる。

(2) 本時の授業の仮説

国語科で次のような読書活動を行うならば、豊かに考える子どもが育つだろう。

仮説1 簡単な組み立ての文章を書くために、はしご車を例にとり大事なことを見つけ、ワークシートにまとめる活動を発展読書として位置付けること。

仮説2 はしご車の仕事とつくりが分かる読書材を選定すること。

仮説3 自分が読み取ったことを発表したり、友だちの発表を聞いたりする場を設定すること。

(3) 展開

段階	学 習 内 容	支 援 と 評 価	準 備
導 入 5	1 前時の想起を する。 2 課題をつかむ。	○三つの自動車の「仕事」と「つくり」を見つけたことを 思い出させる。 はしご車の せつめいの ぶんを かくために「しごと」と 「つくり」をみつけよう。	大判の手 作り図鑑
展 開 30	3 見通しをもつ。 4 見つける。 ・アンダーラインを引 きながら読む。 5 書く。 ・アンダーラインを引 いたところを簡単 に書く。 6 発表する。 ・ワークシートをもと に見つけたことを 発表する。 7 まとめる。	○説明の文を書くために本を読み、「仕事」と「つくり」を 見つけることを確認する。 ○読むことに抵抗を感じている児童のそばに行き、読みの 支援をする。 ○自力で読み進められる児童は最後まで読み進めさせる。 ○仕事については「～仕事をしている」という表現で、つ くりについては「～がある」「～になっている」という 簡単な表現で書かせる。 ○書けない文字があったら教えたり、薄く書いてなぞらせ たりする。 ○書き方が分からない児童には教える。 ○写真も情報ととらえ、写真から分かることも書いてよい ことを話す。 ○読めないところはそっと教える。 ○教材と似ているところ、違うところを考えながら聞くよ うにさせる。 ○友達の話をよく聞くようにさせる。 * 「仕事」と「つくり」を見つけたことができたか ○見つけたことを教科書の文型にならって書きまとめる。 まとめ例 はしご車は、たかいところのひをけしたり、人をたすけたりす るしごとをしています。 そのために、はしごのさきに、人がのるかごがついています。	読書材 ワークシ ート
終 末 10	8 本時の学習を振 り返る。 9 次時の予告をす る。	○学習の振り返りをする。 ○感想の部分は書けるところまででよしとする。 ○図鑑を作るために、自分の好きな自動車の本を選んで読 むことを知らせる。	振り返り カード

(4) 評価

評価場面	具体的評価規準	十分満足できる	おおむね満足できる	努力を要する児童への支援
はしご車について書かれた本の内容を読み取る場面	読 はしご車の仕事とつくりを読み取ることができる。	はしご車の仕事を見つけ、つくりについては2～3個見つけている。	はしご車の仕事とつくりについて見つけている。	はしご車について書かれた読み物を最後まで読み通すことができるように読み聞かせる。

(5) 板書計画

はしご車は、たかいところのひをけしたり、人をたすけたりするしごとをしています。そのため、はしごのさきに、人がのるかごがついています。

しごと

びるの かじを けす
人を たすける

つくり

かごがついている
うんてんせきに でんわやまいくが ついている
そうさだいが ある
はしごは 三十めーとる のびる

はしご車の せつめいの ぶんを かくために 「しごと」と 「つくり」を みつけよう

バス
じょうよう車

トラック

クレーン車

はしご車の絵

じどう車くらべ

6 利用する読書材

『しょうぼうしゃ』	小賀野 実	(ポプラ社)
『こうじのくるま』	〃	
『はたらくくるま』	〃	
『サイレンカー』	〃	
『はたらくじどう車』		
『じどうしゃの本』	肥沼 恵一	(講談社)
『はたらくくるま 1・2・3』		(講談社)
『じどうしゃ』	ジャン＝ピエンコフスキー	(講談社)
『のりもの』	肥沼 恵一	(講談社)
『しょうぼうじどうしゃじぶた』	渡辺 茂男	(福音館)